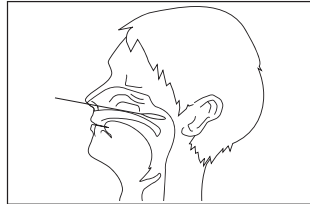


イムノエース[®] hMPV 操作方法

株式会社 **タウンズ**
お問い合わせ先 ☎0120-048-489

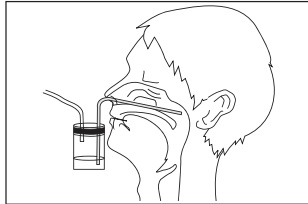
■ 検体採取

鼻腔ぬぐい液



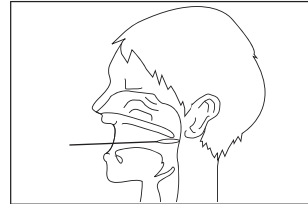
キット付属のスワブで検体を採取します。

鼻腔吸引液



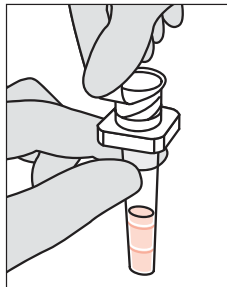
キット付属のスワブを浸します。
(マイクロピペット等で採取する場合は、生理食塩水で2倍希釈し、200μLを採取します。)

咽頭ぬぐい液

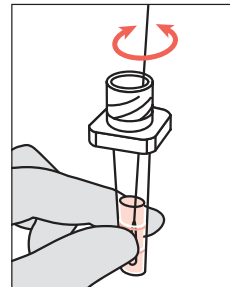


別売りの咽頭・角結膜用スワブで検体を採取します。

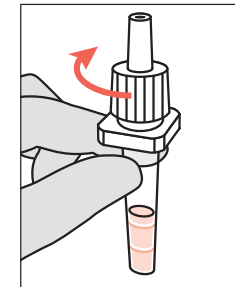
■ 試料調製



検体抽出液の容器のアルミシールを液が飛び散らないように剥がします。

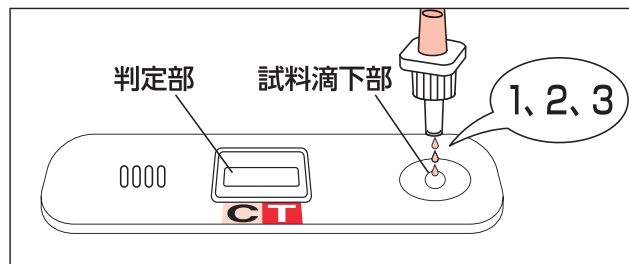


検体採取後のスワブを検体抽出液に浸し、容器の外側からスワブの頭部を軽くつまみ5回以上左右に回転させ、上下に動かし攪拌します。抽出後、容器の外側からスワブの頭部をつまみ、試料を絞り出すようにスワブを引き抜き、試料とします。
(生理食塩水で2倍希釈した鼻腔吸引液を使用する場合は、200μLを検体抽出液に加えてよく混和し、試料とします。)



検体抽出液の容器の上端に付属のノズル（フィルター付）を被せてしっかりと閉めます。

■ 試料滴下



検体抽出液の容器の中ほどをつまみ、テストプレートの試料滴下部に試料**3滴**を滴下します。

⚠ 注意 —————
テストプレートは開封後すぐに使用してください。

注意事項

- ① 滴下するとき、検体抽出液の容器は垂直に保持し、ノズルの先端が試料滴下部に触れないよう注意してください。
- ② テストラインは、ラインの濃淡にかかわらず、目視で確認できれば陽性です。
- ③ ラインは色分けにより区分されている各判定部内であれば、その位置にかかわらず有効です。
- ④ フィルターに目詰まりするほどの強粘性の試料は、生理食塩水で2倍希釈して使用してください。
- ⑤ 抗原量が非常に多い場合には、新しい検体抽出液1本に対して試料を3滴滴下し、希釈調製したものを試料としてください。
- ⑥ 吸引器、咽頭・角結膜用スワブ等は、キットに含まれておりません。
- ⑦ 滴下量が多すぎた場合には、本品の測定原理から白金-金コロイド標識抗体が希釈されることにより反応が遅延し、判定時間内に判定部[C]及び/又は[T]にラインが認められない、又はラインが薄くなる場合があります(偽陰性)。

■ 判定

3~5分



陽性

5分



陰性